

氏名	新村洋未	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	基礎看護学				
学位	修士（保健学）				
学歴	1992年埼玉県立衛生短期大学第一看護学科、1992年埼玉県立衛生短期大学専攻科地域看護学専攻、2003年群馬大学大学院医学系研究科修士課程				
経歴	1992年社会保険埼玉中央病院保健師、1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2015年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本人間工学会、日本看護科学学会、日本看護技術学会、日本看護学教育学会、日本看護研究学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	新看護学8 基礎看護〔4〕臨床看護総論 第16版 第1章患者と家族の理解 第4章症状を示す患者の看護 第5章治療・処置を受ける患者の看護	共著	あり	医学書院、p.288	新村洋未、國澤尚子、武田美津代、木村伸子	2022.1
2	新看護学5 基礎看護〔1〕看護概論 第16版 第3章健康をまもるしくみと看護	共著	あり	医学書院、p.276	雑賀美智子、新村洋未、他	2022.1
3	基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ看護実践のための援助技術 第1版 第12章皮膚・創傷を管理する技術	共著	あり	メディカ出版、p.504	松尾ミヨ子、城生弘美、習田明裕、金壽子、新村洋未、他	2022.1
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	一人暮らし高齢者の日常生活と睡眠の実態 シート型体振動計を用いて	共同		日本老年看護学会第26回学術集会、WEB開催	林裕栄、久保田富夫、武田美津代、新村洋未、畔上光代、滑川道人、三塩操	2021.5
2	コロナ禍における一人暮らしの在宅高齢者の睡眠の見守りと訪問支援の検討	共同		日本睡眠学会定期学術集会46回、WEB開催	久保田富夫、林裕栄、武田美津代、新村洋未、畔上光代、水間夏子、滑川道人、三塩操	2021.9
3	オンライン協同学習を取り入れた採血技術学習プログラムの試行と評価	共同		第41回日本看護科学学会学術集会、WEB開催	○新村洋未、佐藤政枝	2021.12
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	オンライン協同学習を取り入れた看護技術学習プログラムの開発と評価	単独		2021年度埼玉県立大学奨励研究発表会	○新村洋未	2022.2
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			ICTによる在宅酸素療法利用者の個別最適化された患者教育・自己	研究分担者	2021.4～2024.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			高齢者の外反母趾・浮き趾による転倒予防のためのエビデンスに基	研究分担者	2021.4～2024.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者		コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	看護研究			2	3年次生を対象に、「調査研究（質問紙調査）のデザインと方法」、「量的データの分析手法の実際」について理解しやすい具体例を提示しながら講義を行った。（オンライン）	

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	看護方法Ⅳ (診断治療の援助技術)	○	16	2年生を対象に、科目責任者として検査や治療に伴う援助技術について根拠に基づいた実施ができるよう講義・演習を行った。オンライン環境での実技の学習を進めるよう、自宅練習のための調整、オンライン協同学習の導入など工夫を加えて、看護技術の知識・技術の理解が進むよう支援した。(対面・オンライン)
2	看護方法Ⅱ (日常生活援助技術A)		16	2年生を対象に、科目責任者と協力しながら、日常生活 (活動・食・排泄) の意義と援助の原理原則を理解して行動できるよう技術指導を行った。(対面・オンライン)
3	看護方法Ⅲ (日常生活援助技術B)		16	2年生を対象に、科目責任者と協力しながら、日常生活 (清潔) の意義と援助の原理原則を理解して行動できるよう技術指導を行った。(対面・オンライン)
4	看護方法Ⅴ (実践的看護展開)		16	2年生を対象に、科目責任者と協力しながら、前提知識に基づいたフィジカルアセスメント技術の指導や看護過程展開のためのグループワーク指導を行った。(対面・オンライン)
5	看護方法Ⅰ (看護の基本技術)		16	1年生を対象に、科目責任者と協力しながら環境調整技術、観察技術を理解、実践できるよう実技指導を行った。オンライン講義・演習では円滑に授業が進むよう、配信の支援、学生状況の把握を行った(対面・オンライン)
6	看護過程論		16	1年生を対象に、科目責任者と協力しながら、講義とグループワークが円滑にできるよいかかわった。グループワークでは看護過程に必要な思考の方法が理解できるよう指導を行った。オンライン講義・演習では、円滑に授業が進むよう、配信の支援と学生状況の把握を行った。グループ
7	感染管理		8	3年生 (履修選択者) を対象に、感染管理の基本的知識、医療機関における感染管理の実践について、ゲストスピーカーによるオンライン講義とグループワークを取り入れながら教授した。オンラインでのグループワークが円滑に、活発に行われるよう介入を行った。(オンライン)
8	大学院 看護研究		2	大学院生 (博士前期 看護学専修) を対象に、「統計解析概論」、「差を決定するための統計」の授業を担当した。履修者のプレゼンテーション・討議のあと、解説を加え、主体的に理解ができるよう支援をした。(オンライン)
9	大学院 基礎看護技術・看護工学		3	大学院生 (博士前期 看護学専修) を対象に、臥位姿勢の支援、注射器操作技術の習得を促す教授方法に関する講義を担当した。その後、日常の看護実践と研究とのつながりについてディスカッションを行った。(オンライン)
10	大学院 フィジカルアセスメント		6	大学院生 (博士前期 看護学専修 CNSコース) を対象に、「臨床推論演習」として、事例を用いて臨床推論を理解するための授業展開を行った。科目担当者と協力しながら、ディスカッションによる理解が進むよう、教員が受講生の位置で参加するといった工夫を加え、ディスカッションの活性化を図った。(オンライン)
11	大学院 看護学演習 (基礎看護技術、看護工学)		8	大学院生 (博士前期 看護学専修) を対象に、修士論文作成に向けて関連文献のレビュー、研究テーマ・方法の検討など履修者のプレゼンテーションをもとに担当教員とともにディスカッションを行った。(オンライン)
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	ヒューマンケア体験実習		2021.9	学内実習に切り替わった実習において、1年生の2グループ11名を担当し、グループワークのファシリテータ、指導を行なった。(オンライン)
2	基礎看護学実習Ⅱ		2021.10	越谷市立病院において受け持ち患者への看護実践の実習を行う2年次生10名の直接的指導および施設・病棟との連絡調整、およびオンライン実習においての指導を行った。(対面・オンライン)

3	基礎看護学実習Ⅰ		2022.2	埼玉県立がんセンターにおいて見学実習を行う1年生24名の指導および病棟との連絡調整を行った。施設責任者として看護部との連絡調整を行った。(対面・オンライン)	
(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2021.4～2021.12	主指導	4名	副指導 名
(5) その他					
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
	該当なし				
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1	埼玉県看護協会継続教育一般研修	埼玉県看護協会	ケアにつなげるフィジカルアセスメント		2021.9
2	越谷市立病院看護部研修	越谷市立病院看護部	看護研究		2021.6～12
3	高校出張講座	東京都立上野高校	分野別ガイダンス「看護医療」		2022.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
	該当なし				
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称	内容			年月
	該当なし				
(4) その他					
	項目	相手方等	内容		期間
1	地域貢献活動	埼玉県	新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所業務の応援		2021.8～9
5. 学内運営					
	項目	内容			期間
1	学科等における委員会等	看護学科入試実施部会委員			2021.4～2022.3
2	大学広報活動	オープンキャンパス(6月、8月)			2021.6～8
2	大学広報活動	高校訪問(埼玉県立越谷高校)			2021.6
3	学生支援	卒業生の就職継続・再就職支援			2021.4～2022.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)					
	受賞名	主催		受賞年月	
	該当なし				
7. 特許の取得					
	特許名	特許番号		登録年月	
	該当なし				
8. 特記事項					
	該当なし				